

山寺通信7月号

梅雨に入りいよいよ暑い夏になりますが、水出し茶が普及して夏もお茶を飲むことが当たり前になりました。ペットボトル等の茶ドリンクは冷たい飲み物として普及し、お茶も冷たい物と言うイメージが広がっていますが、ボトル型以外の夏用茶器はまだ少ないです。ガラスの茶器が夏だけの物でなくなっているの、お湯にも水にも使える耐熱硝子の製品のバリエーションを増やす予定です。中国のガラスの技術もかなり良くなり、たくさんのお茶の種類にあった新しい製品もあります。日本式にアレンジもしていこうと考えています。今後の仕入れ予定の物を提示します。食品検査の証明書を取って船便で仕入れるので、入荷に1か月から1か月半ぐらいかかるとおもいます。日本の茶器も各産地の職人の高齢化で新製品を作るサイクルが長くなっています。若い作家風の職人も増えていますが、SNSの発達で同好者間の販売が増え、茶器やお茶が趣味性の強い販売方法になっています。従来のプロパーな商品も種類は少なくなります。それで消耗品も代替品が増えています。樹脂製の急須や茶筌等です。実用性はありますが文化性はなくなります。当社としてはなるべく本来の素材で作った手造り物を確保していくつもりです。国産茶筌は当然ですが、リーズナブルな中国製茶筌も2箇所の工場から仕入れています。中国製茶筌は、世界的に需要が上がっています。中国の輸出会社からかなりの数量が海外へ輸出されています。中国の他産地と違い耐熱ガラスなので強度が強いです

中国耐熱硝子茶器 輸入検討品 河間市産

		
<p>番茶-鮮やかな緑色</p>	<p>直火できます</p>	<p>ファイン網使えるか試します</p>
 <p data-bbox="183 1411 454 1489">凍らせたものに 熱湯を入れた強度実験</p>	 <p data-bbox="630 1456 941 1489">木とガラスの組み合わせ</p>	 <p data-bbox="1165 1456 1364 1489">硝子の茶漉し製</p>
		
		